

# 意見書

令和6年9月19日

鈴鹿市高齢者施策推進協議会

鈴鹿市長 末松 則子 様

## 意見書

高齢者のごみ出し問題について、本書のとおり意見書を提出します。

### 1 鈴鹿市の現状と課題

鈴鹿市においても、高齢化の進展により、単独世帯や高齢者のみの世帯が増加しています。

自身でのごみの分別や集積所まで運ぶことが難しくなり、家の中にごみがあふれて不衛生な環境になることや、無理なごみ出しを続けることで怪我をするなどのリスクも高くなります。

このような個々のごみ出しの困難さを地域の課題として捉え、支え合いの仕組みづくりにつなげている地域もありますが、地域ごとに取組が行われるため、市内全域で実施されていないのが現状であり、また、実施されている地域でも担い手不足が課題となっています。

一方、要介護認定を受けた方については、介護保険制度における訪問介護サービスの生活援助によるごみ出し支援を受けることができますが、ごみ出し支援が朝の8時前に集中するため、限られた介護人材で同一時間帯のごみ出し支援に対応することが困難となっています。

### 2 課題解決に向けた考え方

超高齢社会に対応したごみ出し支援として、「公助」によりごみ収集の方法を検討することと、自身で行う「自助」、地域の支え合いによる「互助」、介護保険サービス等を利用する「共助」を組み合わせる総合的に進めていくことを念頭に、市行政及び関係機関、生活援助を提供する事業者、地域住民等が協働で取り組むことが重要です。

### 3 実現のための取組

支援や介護が必要な高齢者等が、できる限り住み慣れた地域で日常生活を継続するため、ごみ出しに係る課題について、次のとおり取組を進めていただきますようお願いいたします。

- (1) ごみ出しに関して少しの助けを必要とする高齢者等を支援するため、住民の支え合いの意識の醸成や、担い手の育成、支え合い活動に取り組むための環境整備に取り組み、地域住民主体の支え合いによるごみ出し支援の仕組みの構築を促して、持続可能な地域づくりを推進すること。
- (2) 介護が必要な在宅の高齢者等を支援するため、家庭ごみの戸別収集等の制度を構築すること。

以上 意見書を提出します。

令和6年9月19日

鈴鹿市高齢者施策推進協議会 会長 藤原 芳朗